

数学専門の個別指導塾「アルカディア数学教室」。教える教科が数学だけというのも特徴的だが、授業の仕方もユニークだ。授業の最初に「今日は何をする？」と必ず生徒に聞き、生徒自身に今日は何を勉強してきたのか、何を学ぶのかなど目的意識を持って能動的に学習を進めてもらう。そのアルカディア数学教室で『明日の学力』診断（『あすかく』）を実施することになった経緯について、塾長の渡辺大蔵氏に話を聞いた。

## 『あすかく』が自塾の強みに

は、一般社団法人教育アライアンスネットワーク（NEA）の入会オリエンテーションに参加したときです。これはすぐに導入しないといけないなと思いましたが、

「一番気に入ったのが、ただ単に知っていれば解けるような問題がなく、テストのために知識を詰め込む勉強が意味を持たないところ。」

「『あすかく』の受検を勧めるとき、保護者にはどのように説明をされているのですか？」

「このテストは5教科などの学力を測るこれまでのテストではありません。これから伸ばすべき力を測るものです」と保護者にご案内していま



渡辺大蔵塾長「あすかくは、今ではアルカディア数学教室の強みの一つと語る。」

す。思考力・判断力・表現力といった能力は、これまで学力として評価する方法がありませんでした。これからの社会で必要とされるこれらの能力を伸ばしていくためには、まず客観的に自分の能力を知る機会が必要です。

保護者の皆さんには、社会も変わり、子どもたちが将来社会に出るときに求められる力も変わってくる、という話を入塾説明や懇談など機会があるたびにお話ししていますので、納得して参加してくださいませ。そして、私も初めはどんなテストだろうと不安を持たれる方はいます。そういった方も一度受けていただくと、実際にご覧になられたら、「次も受けたいです」とおっしゃっていただいています。

また、『あすかく』には大学入学共通テストに近い考え方の問題がかなり入っています。これからの入試を先取りしたテストと言えるのではないのでしょうか。

塾ですので、学校の教科も意識しないといけない部分がありますが、どのように対応されていますか？

確かに知識がないと解けない問題もあります。でも、それはある程度は仕方がないと思いますし、知識不要なら全学年同じテストでもできてしまうので、知識も必要だと教える上では大事なことだと思っています。

ただ、『あすかく』は知識そのものを問うよりも、知識を活用することが重視されており、問題の中にいろいろな形で散りばめられています。社会に出てから必要な力を測るという狙いがとても明確です。

私は数学という教科を問題解決能力を養うことを目的として教えています。問題を解くために必要な情報は、問題から与えられているのが一般的ですが、最近では必要のない情報が混じった問題や、足りない条件



『あすかく』では、詳細な成績表と次につながる学習アドバイスが診断できる。

知識の詰め込みでは通用しない『あすかく』

「これまでの公開テストとは違う『あすかく』を、なぜ活用されることにしたのですか？」

『あすかく』の存在を知ったの

です。『あすかく』は、自分のさまざまな能力を客観的に知り、そこから自分の課題をみつけて改善していくところまで考えられています。こうしたテストはおそらく『あすかく』以外にはないのではないのでしょうか。実際に欠かせないツールになっていますし、ブランディングにもとても役立っています。

何よりも生徒、保護者にご満足していただいているので、顧客満足度にも繋がっています。

### 受検後のフォローで生徒の意識・取り組みが変わる

「答案の返却時には何か特別なことをされていますか？」

振り返りシートが用意されているので、生徒と一緒に説明しながらやり直しをしています。単に間違えた問題をやり直すのではなく、思考力・判断力・表現力の中で自分の強みや伸び代はどの項目なのかを振り返ったり、学

『明日の学力』診断（通称『あすかく』）は新学習指導要領に対応したアセスメント。他塾との差別化につながる学習方略改善で学力向上！

#### 変わる評価軸 学びの次のステージへ

『あすかく』では「学ぶ力・学んだ力」調査で、「知識及び技能」、「思考力・判断力・表現力」を測り、「学ぼうとする力」調査で、「学びに向かう力、人間性など」といった、生徒の学習意欲、学習習慣、学習方法、自己評価を測ります。

そして、ふたつの調査で測定した結果をクロス集計して、得点率上位層の回答をもとに、子供たちが次の学びへ向かうためのアドバイスを、結果資料でお届けしています。

『あすかく』では、次の学びへ向かうためのこのアドバイスを大切にしたいと考えています。児童・生徒が次のステージに上がるためには、現在の課題と基礎的な課題の両方が必要です。

現在の課題とは、解けなかった（間違えた）問題を解けるようになるために必要な学力・考え方を身につけることです。つまり、今足りない学力を身につけることです。

もうひとつの基礎的な課題とは、学習方略、つまり、学習に向かう姿勢である学習習慣・学習方法・自己評価などが身についているかどうかです。この基礎的な課題を「見える化」して理解・把握し、アップデートしてあげることが大切です。そのためには、指導者の適切な道案内が重要です。学習方略を疎かにしてしまうと、表面的には理解しているように見えますが、学習の基礎が身につかないまま、成長していくこととなります。

学力を伸ばしたいけれども、「思うように学びが進まない」、「なかなか学力が上がらない」、「学習習慣・意欲があまり見えない」という悩みを解決するためには、児童・生徒の学習方法、学習意欲、学習習慣、自己評価＝学習方略を指導してあげることが大切です。

『あすかく』を活用して、現在の課題と基礎的な課題を確認し、児童・生徒の成長を促してください。

#### 【2021年度 秋実施の予定】

	申込期間	問題発送日	実施推奨日	事前受検可能期間	答案必着日	結果資料WEB閲覧開始日
秋	前半	10/4(日)～10/17(日)	10/26(日)	11/14(日)	10/30(土)～11/17(日)	11/29(日)
	後半	10/18(日)～10/28(日)	11/9(日)	11/27(土)～12/8(日)	12/18(土)	

\* 2022年度も小1～中2対象で、年2回（春・秋）実施いたします。  
「あすかく」についての問合せ：教育アライアンスネットワーク（NEA）事務局（メール）info@n-ea.jp（電話）03-6431-1311（Web）https://www.n-ea.jp/  
担当：千代延（ちよのぶ）、相原（あいはら）、柳（やなぎ）  
「あすかく」についての詳細はこちらをご覧ください。→



「あすかく」の採用を検討されている塾にひと言お願いします。

これからの入試を考えても、もっと先の将来のことを考えても、これから子どもたちに求められる力を育むためには、なくてはならないテストだと思っています。『あすかく』の意義、目的を理解し納得してもらえれば、保護者の方々にも必ず満足いただけるのです。なので一人でも多くの皆さんに使ってもらいたいですね。